

経営内容のお知らせ

Ehime Shinkin Bank Report

2019年4月1日▶2019年9月30日



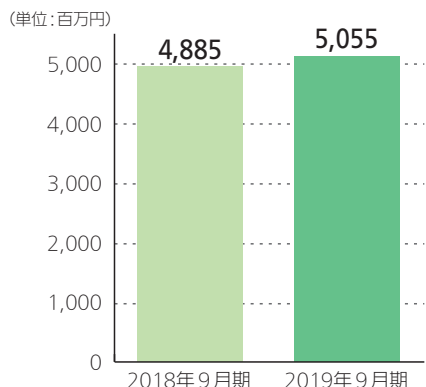
2019年9月期 業績の概要

※計数はすべて単体ベースで表示しています。

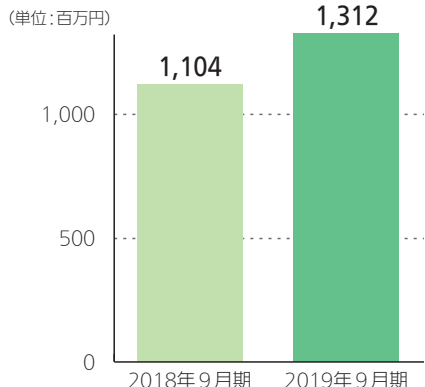
利益の状況

お客様の目標達成や課題解決に向けた活動、適時適切な対応に取り組んだ結果、貸出金残高が増加したこと、また、適切なリスク管理、経費管理などに努めたことから、経常収益、経常利益、当期純利益は増加し、引き続き安定した収益を計上することができました。

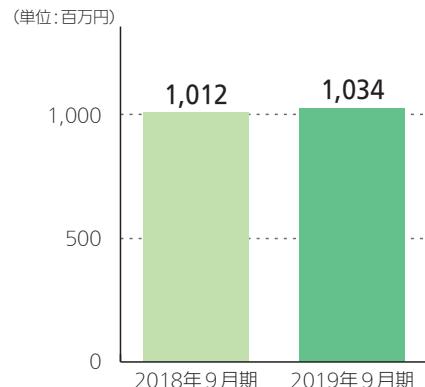
経常収益



経常利益



当期純利益



(単位:百万円)

	2018年9月期	2019年9月期
経常収益	4,885	5,055
業務純益	1,025	1,207
コア業務純益	1,019	976
経常利益	1,104	1,312
当期純利益	1,012	1,034

用語のご説明

●業務純益

預金積金利息などの資金調達費用をはじめとする業務費用から金銭の信託運用見合費用を控除した額を、貸出金利息などの資金運用収益をはじめとする業務収益から差し引いて算出するもので、信用金庫の主な業務によって得た純利益を表しています。

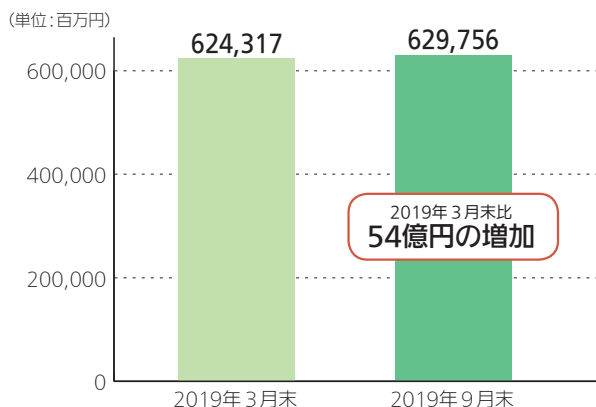
●コア業務純益

業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加え、国債等債券5勘定戻(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却)を控除したもので、金融機関本来の事業活動のみの利益を表しています。

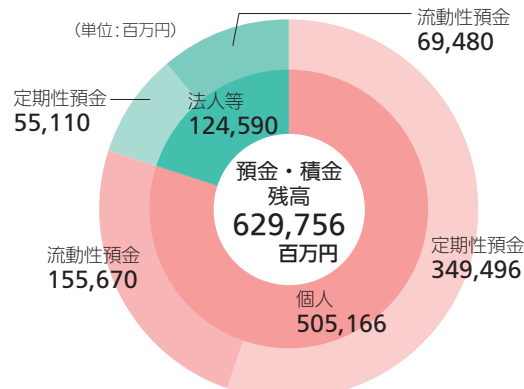
預金の状況

お客様の資産形成や運用に関するニーズが多様化するなか、日々の活動でのお客さまとの対話を大切にし、ライフプランやライフイベントに合わせた商品のご提案に努めたことから、9月末残高は前期末比54億円増加し、6,297億円となりました。

預金・積金残高



人格別預金残高構成

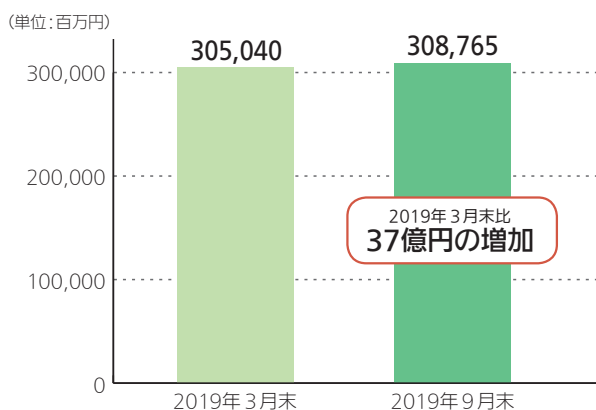


(注) 1. 「個人」には個人事業主を含んでいます。
2. 「法人等」には地方公共団体、金融機関等を含んでいます。

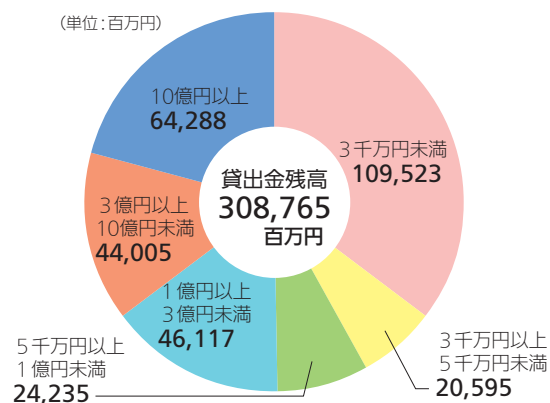
貸出金の状況

定期的な訪問活動でのお客さまとの会話を通じて、中小企業や個人のお客さまの資金ニーズの把握や課題の早期発見・解決に努め、適時適切な融資に取り組みました。その結果、9月末残高は前期末比37億円増加し、3,087億円となりました。お客さまからお預かりした預金・積金は、特定業種・特定先に偏ることなく、地域の皆さまの目標達成や課題解決、事業の成長や発展などのための資金として幅広くご利用いただいています。

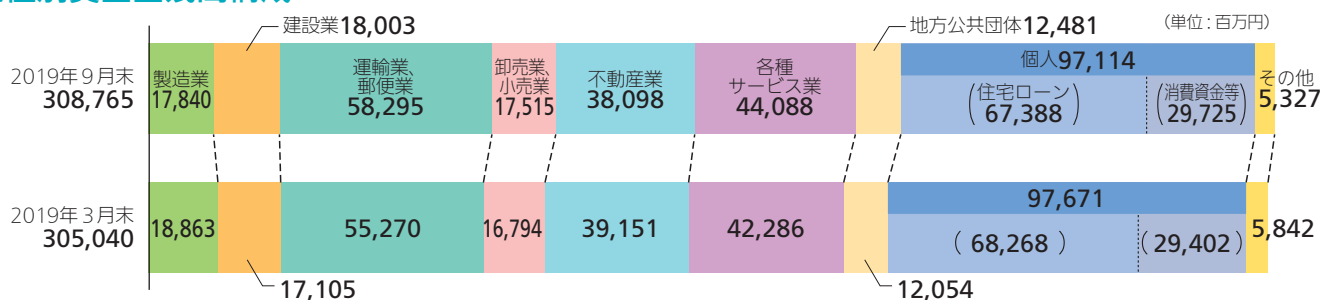
貸出金残高



金額階層別貸出金残高構成



業種別貸出金残高構成



(注) 1. 「各種サービス業」は、「物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業」「飲食業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「その他のサービス」です。

2. 「その他」は、「農業、林業」「漁業」「鉱業、採石業、砂利採取業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」です。

信用金庫は、地域のお客さまや会員の皆さまが、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営している相互扶助型の金融機関です。

事業地区や会員資格を限定し、地縁・人縁を大切にしながら事業を行っています。

■愛媛信用金庫の会員資格

当金庫の事業地区（愛媛県一円、香川県観音寺市・三豊市）に

お住まいの方

お勤めの方

事業所をお持ちの方*

転居予定の方

*個人事業者で常時使用する従業員数が300人を超える場合、または、法人事業者で常時使用する従業員数が300人を超え、かつ資本金が9億円を超える場合は、会員になることはできません。

● 住所変更手続きのお願い ●

以下に該当する会員の方は、総代会の決議により除名となることがあります。

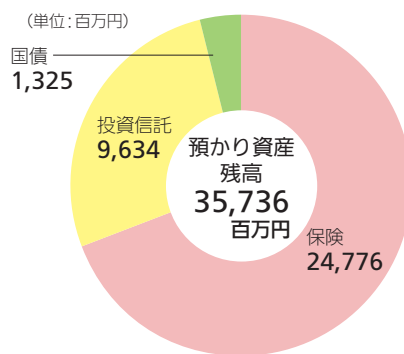
1. 5年以上継続して当金庫の事業を利用していない方
2. 当金庫の通知又は催告が5年以上継続して到着しなかった方
3. 当金庫への届出住所等に所在していないことが確認できた方

住所等が変更になられた会員の方で、当金庫へ届出住所等の変更の手続きを行っていない場合は、速やかに最寄りの営業店でお手続きいただきますようお願いいたします。

預かり資産の状況

営業店職員とマネーアドバイザー（資産運用支援部所属の預かり資産専任職員）が連携しながら定期的にお客さまを訪問し、それぞれの資産状況や運用方針にあわせて、さまざまな情報を分かりやすくお伝えし、ニーズに合わせた商品をご紹介します活動に努めました。

預かり資産残高構成

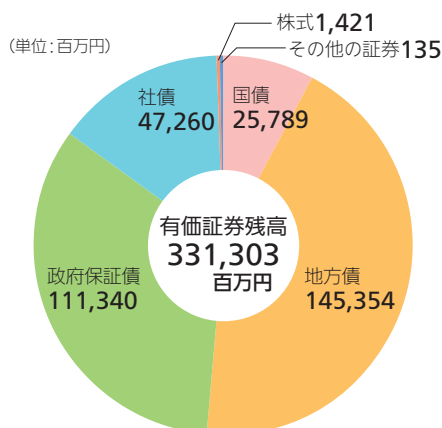


(注) 1. 「投資信託」は、9月末日における市場価格等に基づいています。
2. 「保険」は、「年金保険」「終身保険」「学資保険」です。

有価証券の状況

国債、地方債、政府保証債を中心に安全性・流動性に留意しながら運用しています。

有価証券残高構成



(注)「社債」は、「金融債」及び「事業債」です。

有価証券の時価情報

▼その他有価証券

(単位:百万円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価(償却原価)	評価差額
株式	772	376	396
債券	329,746	321,042	8,703
国債	25,789	24,874	915
地方債	145,354	141,721	3,632
社債	158,601	154,446	4,155
その他	113	77	35
合計	330,632	321,497	9,135

(注) 1. 貸借対照表計上額は、9月末日における市場価格等に基づいています。
2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含みません。

▼満期保有目的の債券

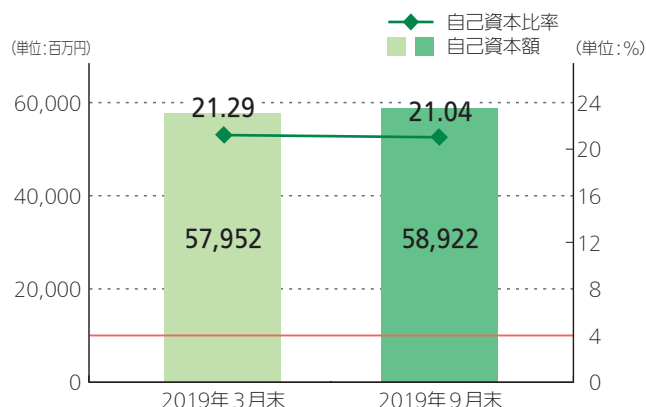
2019年9月末日において満期保有目的の債券は保有していません。

自己資本の状況

当金庫の自己資本は、会員の皆さまの出資金や、每期安定した利益を計上して積み上げてきた内部留保等によって構成されています。

貸出金残高が増加したことなどから、自己資本比率を算出する際の分母となる「リスク・アセット等」が増加しましたが、安定した利益を計上することができたことから、経営の健全性・安全性を示す自己資本比率は21.04%となり、国内基準（4%）を大幅に上回る高い水準を維持しています。

自己資本額・自己資本比率



(単位:百万円)

	2019年3月末	2019年9月末
自己資本 (A)	57,952	58,922
リスク・アセット等 (B)	272,159	279,955
自己資本比率 (A/B)	21.29%	21.04%

用語のご説明

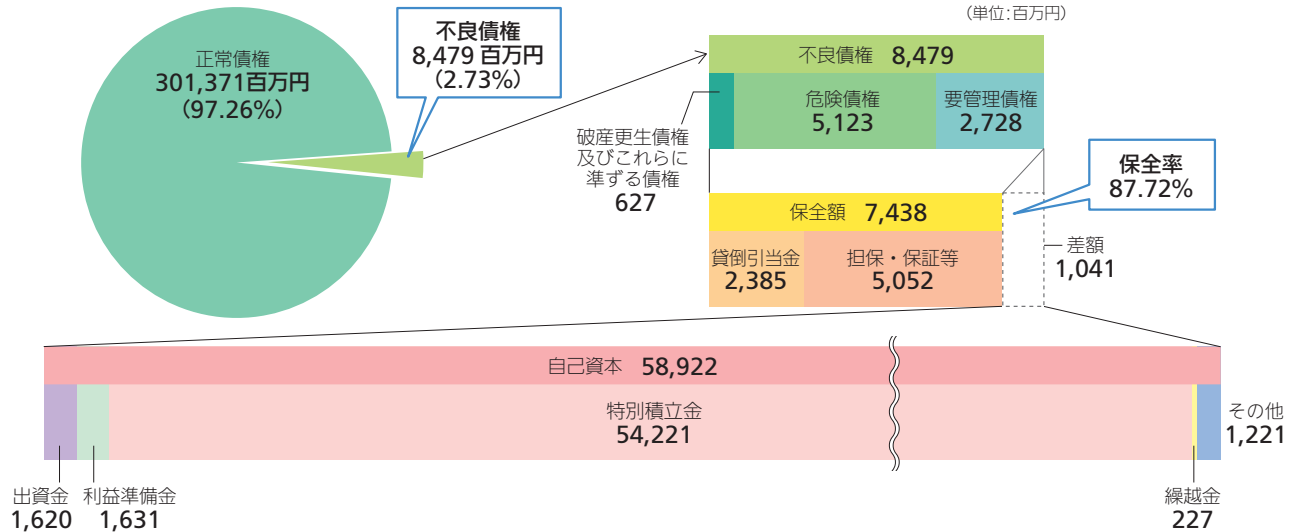
●自己資本比率

リスクに応じて計算された資産（＝リスク・アセット）に対する自己資本の割合を表すもので、金融機関の健全性を示す重要な指標とされています。

金融再生法に基づく開示債権の状況

お客様の資金繰りの円滑化に努めるとともに、地域事業振興部を中心に本部と営業店が連携し、経営改善や経営力の強化に積極的に取り組みました。

当金庫では、厳格な基準のもと償却・引当を行い、不良債権に係る会計上の処理はすべて完了しています。不良債権額と保全額との差額1,041百万円に対し、当金庫の自己資本の構成の中心となっている内部留保額は56,081百万円であり、経営に与える影響は極めて少なく、健全性を十分に確保しています。



用語のご説明

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態・経営成績が悪化し、契約に従った債権元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

●要管理債権

「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

●正常債権

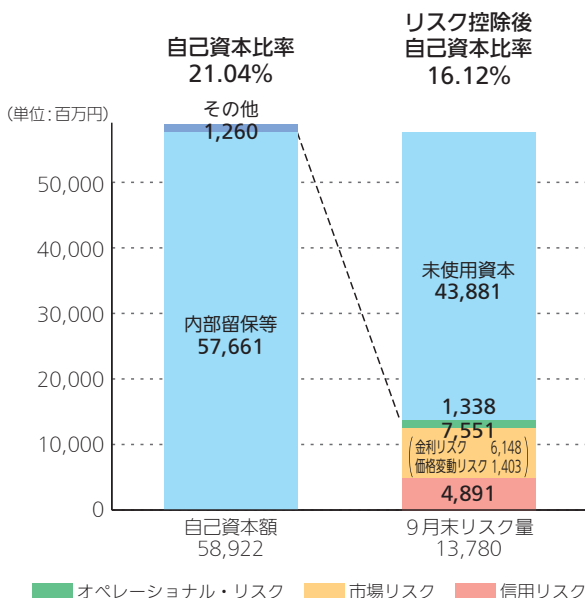
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

統合的なリスク管理の状況

当金庫では、個々のリスクを一元的に管理し、経営体力(=自己資本)の範囲内でコントロールすることで、経営の健全化及び収益力の向上に努めています。

9月末におけるリスク量がすべて顕在化したと仮定した場合の自己資本比率も16.12%であり、国内基準を大幅に上回る水準を維持しています。

自己資本に占めるリスク量



用語のご説明

●信用リスク

取引先の倒産や財務状況の悪化などにより、当金庫の資産の価値が減少ないし消失し、損失を受けるリスクのことです。

●金利リスク

資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下し損失を被るリスクのことです。

●価格変動リスク

有価証券の価格の変動に伴って資産価値が減少するリスクのことです。

●オペレーショナル・リスク

業務上における不適切な処理等で生じる事象により損失を受けるリスクのことです。当金庫では、事務リスク、システムリスク、その他のオペレーショナル・リスク(法務リスク、風評リスク、人的リスク、有形資産リスク等)を含む幅広いリスクとして捉えています。

お客さまの利便性向上のために

「しんきんバンキングアプリサービス」取扱い開始

アプリをダウンロードして登録すれば、スマートフォンから口座残高や入出金明細の照会などができる、個人向けサービスの取扱いを開始しました。本サービスでは、長期間の入出金明細の確認や明細ごとのメモへの記入（20文字以内）ができます。（4月）



キャッシュレスへの対応（Origami Pay）

Origami Payを使用する際の決済口座として、当金庫の普通預金口座をご指定いただけるようになりました。お買い物の際にQRコードのスクリーンショットの提示をすることで、直ちに決済口座からのお支払いが完了します。（6月）

Origami Payとは加盟店でのお会計の際にスマートフォンをかざすだけで支払いを済ませることができる決済アプリです。スマートフォンとクレジットカードあるいは金融機関口座があれば初期費用も登録費用もかからないことから、新たな支払方法として注目されています。

立花支店リニューアル！

店舗機能の充実や利便性の向上、耐震強化を目的として、立花支店が装いも新たに生まれ変わりました。新店舗には、思いやり駐車場や多機能トイレを設置したほか、電子記帳台（ランチナビ）やテレビ会議システムも導入しました。

電子記帳台とは、タッチパネルに表示される操作ガイダンスに従いながら、タッチペンを使って、簡単・確実に伝票が作成できるシステムです。住所や氏名など一度の入力で複数書類の重複項目の記入が完了するため、お客さまの負担が軽減されます。



地域の活性化

知るぼるとキッズ体験学習

毎年、愛媛県金融広報委員会と連携したイベントを開催しています。今年も36名の親子連れが参加し、日本銀行松山支店で紙幣の仕組みについて学んだり、当金庫本店で正しいお金の数え方を教えてもらいながら挑戦したりしていました。（7月）



八幡浜で開催された世界マーマレードワード&フェスティバルのお手伝い（5月）



地元小学生の支店見学（6月）



今治市民のまつり「おんまく」に参加（8月）

6月15日は信用金庫の日！

清掃ボランティア活動

お客さまへの日頃の感謝の気持ちを込めて、全営業店で店舗周辺や近くの公園・駅などの清掃活動を行いました。



認知症予防セミナー開催

認知症に関する正しい知識の習得や認知症の予防・抑制・改善方法を学んでいただけるセミナーを開催しました。(6月25日)



特殊詐欺被害防止啓蒙活動

特殊詐欺被害の未然防止を図るため、来店されたお客さまや訪問先に対し注意喚起のチラシの配布や声かけを実施しました。



人材育成

当金庫ではお客さまの幅広いニーズやご要望にお応えするため、研修や自主参加型講座、勉強会等を通じて職員の育成に努めています。

目利き能力養成講座

事業先の経営改善ならびに今後の成長支援への対策を習得することを目的として開催しています。経営改善や事業再生における基本的な知識・手法から内部環境・外部環境を踏まえた事業性評価シートや経営改善計画書の策定実務などを学んでいます。また、取引先の協力のもと工場等の現場見学や経営者の話を聞くことで事業に対する理解を深めています。



事業性評価講座

地域経済の安定と成長に貢献するために、取引先企業の実態を正確に把握することを通じ、お客さまの課題解決や夢の実現に向けた取組みを継続して行く必要があります。事例とする企業について、事業性評価を行ったうえで、どのような提案が可能かといったことを考え、実際の営業活動での実践力を身に付けることを目的として開催しています。



セールスコミュニケーション講座

さまざまなワークによってお客さまと打ち解けるために必要な観察力や質問力のスキルアップを図り、お客さまとの信頼関係を作り上げていくコミュニケーション方法を学んでいます。



預かり資産勉強会

投資信託・保険・信託の商品について、営業店が学びたい内容を選択し、商品の特色やセールスポイント、具体的なニーズに応じた提案方法などを営業店ごとに勉強しています。



事業を営むお客さまへの支援

創業から成長期、安定期まで継続してサポートするために、創業・経営に関する知識の習得、幅広い人的交流を目的としたセミナーなどを開催しています。



無料経営セミナー

販路開拓・人材育成や相続・事業承継などさまざまな課題解決のきっかけづくりとなるセミナーを開催しています。



創業セミナー

年2回、2日間の無料セミナーを行っています。経理、会計、人事・労務、事業資金の借入れに関する基礎知識を学ぶことができます。

地元企業のための新入社員合同研修

採用人数が少ないなど、自社での新入社員研修が難しい地元中小企業の人材育成等の支援を目的として、平成9年より毎年4月に開催しています。ビジネスマナーや基本的な電話対応のロールプレイングなどを行っています。

また、お客さまの販路拡大やマッチングのお手伝いをするため、全国の信用金庫と積極的に連携し、各地で開催されるビジネスマッチングや商談会などへの出展をお手伝いしています。



第20回おやかましんきんビジネス交流会
(4月・コンベックス岡山)



さいしんビジネスフェア2019
(6月・さいたまスーパーアリーナ)



2019「よい仕事おこし」フェア
(10月・東京国際フォーラム)



全国の信用金庫のお客さまをつなぐ
「よい仕事おこしネットワーク」は
当金庫ホームページからアクセスできます

<https://www.yoishigotonet.com/>



全国の信用金庫約7,400店舗のネットワークを活用し、「販路拡大」や「営業エリア拡大」などのさまざまな経営課題についてマッチングや相談ができます。

このたびの自然災害により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と、皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

当金庫では義援金の受け付けを行っています。詳しくはお近くの営業店窓口へお問い合わせください。

詳しくはお近くの営業店へお問い合わせください。



〒790-0002 松山市二番町4丁目2番地11
TEL 089-946-1111 (代表)
<http://www.shinkin.co.jp/ehime/>



本資料は、情報開示頻度の拡充といった観点から、半期における当金庫の現況をピックアップして作成したものであり、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌ではございません。



見やすい紙面作りのため
ユニバーサルデザインフォントを
使用しています。